



特集1 P 2  
岡山県国際交流協会創立25周年・  
岡山国際交流センター開設20周年  
記念講演会

特集2 P 3  
留学生等による国際理解学習  
支援プログラム

事業報告 P 4  
OPIEF虹の架け橋コンサート ほか

世界の文化 P 8  
卒業式編

Think Global, Act Local P 8  
～県内国際団体のご紹介～  
公設国際貢献大学校

お知らせ P 9  
支援事業報告/ボランティア募集

イベントカレンダー P 10  
語学講座  
おかやまフェアトレードデー! ほか

# おかやま 国際交流



講演者 サヘル・ローズさん

## 「岡山県国際交流協会創立25周年・ 岡山国際交流センター開設20周年記念講演会」

10月31日(土)

共催:岡山県、岡山発国際貢献推進協議会

国際交流・多文化共生等の分野で活躍するイラン出身の女優サヘル・ローズさんが、「国を越えて、今を生きる。－出会ったすべての人に感謝の心を－」と題して講演し、229名が参加しました。サヘルさんは、幼少時代に家族を亡くし、8歳の時に養母と共に来日。貧困、偏見、いじめなどの壮絶な経験や、国籍関係なく、心と心が繋がる出会いに救われてきたエピソードなどを語り、「失敗の中に隠れている成功のヒントを見つけ出し、プラスに変えることができる!辛いことは次に生きるためのチャンスになる!」と力強いメッセージで、聴講者に大きな勇気と希望を与えました。

## 岡山県国際交流協会創立25周年 記念講演会 岡山国際交流センター開設20周年

10月31日(土)

### オープニングステージ

岡山県立岡山城東高等学校合唱部の皆さんが爽やかでパワフルな歌声を聴かせてくれました。



### 主催者あいさつ

当協会代表理事、岡山県副知事により、幅広い国際交流、世界に開かれた活力ある地域づくりに貢献された方々や、同センターの運営に関わった方々への敬意と感謝の意が表されました。



一般財団法人岡山県国際交流協会  
末長 範彦代表理事



岡山県  
宮地 俊明副知事

### 同時開催イベント

#### こくさいこどもフォーラム岡山 「創立20周年記念～高校生の高校生による 高校生のためのシンポジウム～」

第1部は、外資系企業で活躍される中島 理恵氏から「グローバル人財になるために今考えておきたいこと」についての基調講演。第2部では、高校生たち自身による司会進行と運営で、「グローバル化とコミュニケーション力は比例するのか?」「今自分にできること?」など5グループに分かれ議論し、意見を取りまとめ発表をしました。中島氏からは、「グローバル力として必要な力①アウトプット力②アクティブリスニング力(傾聴力)③リーダーシップなどを高校生たちは十分に発揮しており、今後さらに磨きをかけてほしい」との講評をいただきました。



#### JICA中国「もんげー岡山の国際協力!」

岡山県内でJICA(独立行政法人国際協力機構)と事業を行っている大紀産業株式会社、AMDA社会開発機構、アジア有機農業連携活動推進協議会、清心中学校・清心女子高等学校の代表者が、それぞれの活動紹介を行いました。

活動紹介の後は、パネルディスカッションや景品付きクイズ大会を行い、参加者同士の意見交換や交流を楽しみました。



#### 岡山ユネスコ協会「ユネスコ70周年記念式典と展示」

記念式典では、岡山市長による記念スピーチ、政官学民による連携の誓い、70周年記念のプレゼンとトーク、記念絵画展入選者への特別表彰、ユネスコスクール認定校へのプレート授与、高校生による活動発表、未来へのメッセージの発表などがあり、100名近い参加者で70周年を祝いました。



### パネル展 10月1日～10月31日

岡山国際交流センター1階ロビーにて、当協会が平成3年3月に設立以来25年の歴史をパネル展示で振り返りました。また、JICA中国「JICA協力隊50周年のあゆみ」、岡山発国際貢献推進協議会「10年のあゆみ」も共催展示し、多くの来館者が足を止めました。



# 留学生等による 国際理解学習支援プログラム

このプログラムは、留学生と子どもたちとの交流を図るため、県内の大学に在学する留学生を小学校に講師として派遣するものです。子どもたちは留学生からの母国紹介やあそび体験などを通して、また留学生には子どもたちからの文化紹介や音楽、踊りなどの発表を通して、相互に異文化理解を図っています。子どもたちが世界への関心を深め、外国語学習にさらに意欲を持って取り組むことを期待し、今年度も10校で授業を行いました。

## 参加留学生の感想

- ・子どもたちが私の国の言葉であいさつしてくれたり、手作りのプレゼントを準備してくれたりしていて、とてもうれしかった。
- ・子どもたちの発表からたくさんのことを学んだ。
- ・国の紹介をするに当たって、自分の国について知らなかったことがあったことに気が付いた。
- ・子どもたちがどのようなことに興味があるのかを知ることができて、おもしろかった。



積極的に質問をする子どもたち

## 留学生の様子

派遣前の打ち合わせでは、子どもたちが母国のどのようなことに興味を持っているのかをしっかりと話し合い、わかりやすいプレゼンテーションを準備してくれました。また、授業中だけでなく、休み時間も外でサッカーや鬼ごっこをして、子どもたちと積極的に関わり、距離を縮めていました。日本に長く滞在していても、日本文化を学ぼうとする謙虚な姿勢を持っており、子どもたちからの発表も真剣に聞いていました。発表の準備中、あいまいにしか理解できていなかったこともあったようで、母国についても勉強をするなど、大変熱心に取り組んでいました。



給食も一緒にいただきます



中国を紹介する様子

## 子どもたちの様子

事前学習で留学生の国の言葉を調べ、練習し、当日は留学生の母語であいさつをするなど、授業の前から興味を持って取り組んでいました。ALT以外の外国人と接する機会はなかなかないので、国や言語の多様性に触れ、刺激を受けたようでした。

がんばって英語で質問する児童もあり、言いたいことが伝わったときのうれしそうなお表情はとても印象的でした。また、留学生の発表を聞いて興味を持ち、授業後にさらにその国について学びたいと言った児童もいたそうです。どの学校でも交流を前々から楽しみにしてくれていたようで、その様子は子どもたちの笑顔や生き生きとした表情から伝わってきました。

## 得られた成果

ふだんテレビ等から得られる情報とは違い、留学生から聞く生きた情報は、子どもたちにとってとても新鮮に映ったように感じます。また、子どもたちは英語で自己紹介や活動紹介をしたことにより、外国の方と通じ合えた喜びを感じるとともに、英語を話すことにも自信をつけたようです。

外国の文化に触れ、自分たちが当たり前と思っていたことが当たり前ではなく、食べ物も年中行事も、学校に行く時間までもが大きく違うことに驚きながらも、日本の文化を見つめ直すこともできたのではないのでしょうか。このプログラムが、子どもたちが少しずつ世界に目を向け、文化や考え方の違いを認め合えるようになるきっかけになれば幸いです。



日本の昔遊び体験



アルゼンチンの先住民の武器を紹介



民族衣装でカンボジアの紹介

### ○関連団体

岡山県教育庁義務教育課  
岡山ロータリークラブ  
岡山大学  
岡山理科大学  
岡山商科大学

### ○派遣先小学校(全10校)

吉備中央町立円城小学校、倉敷市立玉島小学校、倉敷市立玉島南小学校、倉敷市立柏島小学校、新庄村立新庄小学校、瀬戸内市立国府小学校、総社市立維新小学校、総社市立昭和小学校、美作市立美作北小学校、美作市立美作第一小学校

### ○登録留学生(全24名)

中国10名、ベトナム4名、アルゼンチン1名、インド1名、エルサルバドル1名、韓国1名、カンボジア1名、スペイン1名、トンガ1名、バングラデシュ1名、マレーシア1名、ニュージーランド1名

## OPIEF虹の架け橋コンサート

11月3日(火・祝)

出演者：なつかん、三船ヴァンさん

「響き合う日本とベトナムの伝統弦楽器」と題して、「なつかん」と三船ヴァンさんの2組によるライブコンサートを開催しました。

「なつかん」は、津軽三味線と沖縄三線の演奏をする森本和正さんと、アフリカの打楽器ジェンベやアイルランドの打楽器バウロンを演奏するなつえさんの夫婦ユニットです。和楽器に民族打楽器が加わった独創的なスタイルで「アサダユンタ」「十九の春」「鳥唄」などの沖縄の歌のほか、津軽民謡メドレーや迫力のある「津軽じょんから節」が披露され、夫婦ならではの息の合った演奏と楽しい曲紹介に、会場全体が引き込まれました。



フィナーレでの合奏

続いてベトナム出身で津山市在住の三船ヴァンさんが登場し、ベトナムの民族楽器ダンチャイン(十六弦琴)の独奏と歌唱により、「ロンドンデリーのうた」や「赤とんぼ」などのよく知られた曲や、ベトナム曲「チョンコム」「美しい昔」を披露しました。哀愁を帯びた琴の音色と豊かで伸びのある歌声は圧巻でした。

フィナーレでは、2組の合奏により「もみじ」と「ふるさと」が披露され、会場の参加者も一緒に歌って盛り上がりました。

会場の50名余りの参加者からは、「ふだん聞けない楽器の音色を聞いて良かった」「笑顔が素敵で温かいコンサートだった」「いろいろな楽器のコラボが聞いて良かった」などの感想が寄せられました。



三船ヴァンさん



なつかん

## 日本語ボランティアスキルアップ研修会

11月14日(土)

講師：「ひまわり21」日本語教室 伊藤 美智代氏

「外国人住民と地域をつなぐ日本語教室活動」と題して、地域の日本語ボランティアを対象に開催しました。

講師の伊藤 美智代氏が代表を務める「ひまわり21」の日本語教室では、日本語学習や交流活動を通し、さまざまな文化を持つ人々が相互認識と理解を深め、共に生きる地域社会の実現を目指すことを活動目的としており、教室内で日本語を勉強するだけでなく、「休山クリーンハイキング」「フットサ



研修会の様子

ル」「パネル展」「バス旅行」など積極的に地域の活動に参加しています。これらの活動を通し、日本語教室の参加者の視野が広がったり、地域の方の理解や支援にもつながっていたりすることを学びました。

活動について話を聞いたあと、15名の参加者はグループに分かれて、自分たちの教室では、どのような活動をすることで地域とのつながりを持てるかを考えました。参加者からは、「もちつき大会」「おそろいのTシャツを着て、地域の行事で地ビールを販売」「うらじゃおどりに参加」「春夏秋冬の季節ごとに日本の伝統文化体験」などのアイデアが出ました。参加者は「地域とつながるという考えがなかったので、教室で取り入れたい」と講師から多くのアドバイスをもらっていました。講師は「『がんばる』から『一緒に楽しむ』に発想を変えたら、素晴らしい活動ができる」と話しました。



講師の伊藤 美智代氏

# オーストラリアサロン

11月23日(月・祝)

共催：岡山県・南オーストラリア州友好協会

講師：岡山大学留学生 ブラウン・ティファニーさん  
ヒューエット・ミランダさん

岡山大学 梅崎 泰佳氏

ゲスト：ツァン・チ・オン・ダニエルさん



講師の梅崎 泰佳氏



ブラウンさん、ヒューエットさんによる講演

第1部では、南オーストラリア州アデレード出身のヒューエットさんと西オーストラリア州パース出身のブラウンさんがオーストラリアの歴史や文化、出身地の観光地などについて講演しました。先住民アボリジニの紹介では、聖地であるウルルや、彼らが大切に語り継いでいる天地創造の神話「ドリームタイム」についての話もありました。ヒューエットさんが英語で、ブラウンさんが日本語で話してくれたので、45名の参加者はオーストラリアの英語を聞きながら、内容もしっかり理解できたようでした。



座談会

第2部では、キャンベラ大学に留学経験のある梅崎氏が、体験談を語りました。留学前から留学後にかけての気持ちの変化や現地で取り組んだ活動、留学を通して変わった自身の考えなど、もっと聞きたいと思うような興味深い話でした。留学に興味のある高校生や大学生、留学経験のある参加者も多く、皆、梅崎さんの話に引き込まれていました。

第3部の座談会では、ツァンさんも加わり、4つのグループに分かれて歓談しました。参加者は英語と日本語を使って交流を図り、現地の観光情報や流行、日本食の普及度などについて幅広く質問していました。普段はなかなか聞くことのできない生の声が聞けて、これから留学を考えている参加者はとても前向きになれたようです。

広大な国オーストラリアは、地域によって違った魅力があるということがよくわかりました。皆さんもぜひ一度、オーストラリアを訪れてみてはいかがでしょうか。

# 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 11月28日(土)・1月15日(金)

講師：第1回 特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦氏

第2回 医療通訳研究会 代表 村松 紀子氏

第3回 MICかながわ 医療通訳コーディネーター兼ポルトガル語通訳 岩本 弥生氏

医療機関、学校、行政機関窓口等で外国人と日本人のコミュニケーションを、通訳ボランティアとしてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」登録者を対象に研修会を実施しました。

第1回は、土井氏から多文化共生社会について講義があり、通訳として知っておくべき、外国人をとりまく状況について理解が深まりました。そして、日常生活で使うことができる「やさしい日本語」についても学びました。市民だよりの情報をわかりやすい表現の日本語に直そうとしてみると、元の表現が想像以上に外国人にとって理解しづらいことに気付かされ、「やさしい日本語」の必要性を感じました。

第2回は村松氏から医療通訳について講義がありました。



ディスカッションの様子

活動準備、当日注意すべきこと、通訳の原則や特殊性などについて学び、通訳として活動する村松氏が実際に体験した事例を交えながらの講義により、具体的に理解を



第1回講師の  
土井 佳彦氏



第2回講師の  
村松 紀子氏



第3回講師の  
岩本 弥生氏

深めることができました。

第3回は、医療通訳に関するワークショップを行いました。サポーター同士で、派遣先の病院で困った経験や、うれしかった経験など自由に語りあったり、課題について意見を交わしたり、和やかな雰囲気のワークショップとなりました。通訳者としての基本である「足さない、引かない、変えない」という基本的なルールを守らなくてはいけないことは当然ですが、現場では、それを守るだけではコミュニケーションのサポートとして不十分な場合もあるということも、サポーターの経験談を通して学ぶことができました。

研修会は、ふだん一人で活動するサポーター同士の交流の場にもなりました。

## 地球市民講座(特別編) ～映画上映会～

12月4日(金)

12月4日～10日の人権週間にあわせて、県民への世界の人権に関する問題提起を目的とし、ドキュメンタリー映画「バベルの学校」の上映会を開催しました。

この映画は、フランスの中学校の適応クラスにやって来た24人の生徒たちの物語です。アイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国・・・、20もの国から移民してきた11歳から15歳の子供たちは、このクラスでフランス語を学び、話せるようになるための集中トレーニングを受け、やがては通常のクラスに移るために、ほかの教科も学んでいきます。国籍も宗教もフランスに来た理由も違う子供たちの中には、時に大声で口論し、泣き、自暴自棄になる子もいます。担任のブリジット・セルヴォニ先生は、そんな子供たちを驚くほどの辛抱強さで見守り、なだめ、そして導いていきます。まるで世界

の縮図のようなクラスは1年後にどうなってしまうのでしょうか。

参加者からは「様々な背景の子供たちの日常が興味深かった。日本でも外国籍の子供たちに、充実した温かい支援制度が整うことを祈っている」「生徒たちの素直な言葉がとても心に響いた。ぜひ、日本の中高生にも見てほしい作品だと思った」等の感想が寄せられました。

この映画を通して、他人を受け入れ、偏見を持たずに接することがどれほど大切かということを感じました。



映画上映の様子

## 話してみよう韓国語 ー第2回 岡山大会ー

12月5日(土)

主催：一般財団法人岡山県国際交流協会

駐大阪大韓民国総領事館韓国文化院

共催：岡山県、駐大阪韓国文化院世宗学堂

特別協賛：ASIANA AIRLINES



韓国語を習い始めた人でも参加できる新しいタイプの韓国語スピーチ大会を開催しました。台本に従って、その場面を演技しながら発表する「スキット部門」と自分の経験談と考えを述べる「スピーチ部門」に43名が参加し、今までがんばってきた韓国語の実力を発揮しました。

中高生スキット部門では、斬新なアイデアと正確な発音で発表し、観客を魅了した後楽館高等学校の但野 風花さんと松久 樹里さんが最優秀賞を受賞しました。一般スキット部門では、山下 昌英さん、孝子さんご夫妻の、ユーモアあふれる内容と息ぴったり演技力が高く評価され、最優秀賞を獲得しました。

スピーチ部門では、岡山大学の難波江 利歩さんの説得力のある韓国留学の経験談や日韓交流の大切さの話に、審査員と観客は深く感動しました。副賞の旅行券を使って、再び韓国への旅を楽しむそうです。

そして、岡山大会ならではのスペシャル文化公演では、韓国



記念撮影

の俳優ミン・ジュノさんが出演しました。韓国ドラマの撮影現場での経験談やウイットあふれるミンさんのトークに、110名の参加者が魅了されました。韓国



「ツインズメロディ」による公演

文化公演では、今年のアカペラ日本一決定戦「ハモネプ全国大会」でトップ3に輝いたアカペラグループ「ツインズメロディ」が、素敵な歌声で日韓両国の歌を披露し、観客を癒やしました。

大会後、参加者と指導者は韓国料理を食べながら交流会を楽しみました。日韓国交50周年を迎えた今年、両国の友情を深める機会になりました。



中高生スキット部門の様子



一般スキット部門の様子



スピーチ部門の様子



スペシャル文化公演の出演者ミン・ジュノさんと参加者で記念撮影

## 英語による絵本の読み聞かせ会 一特別編一

12月12日(土)

講師：岡山大学留学生 アギュラー・アダム・オーグスティンさん  
トウン・ロケトウイさん

ベトナム出身の岡山大学留学生トウンさんがベトナム伝統のお菓子「チェー」の作り方を教えてくれました。初めてのベトナムお菓子作りに、親子とも興味津々でした。17名の親子は講師と英語で会話をしながら、一生懸命、団子を丸めたりソースの材料を刻んだり、楽しい時を過ごしました。



楽しいベトナムのお菓子作り

参加者で試食した後、アメリカ出身のアギュラーさんによる「英語による絵本の読み聞かせ会」を実施しました。絵本のタイトルは「What's in the Witch's Kitchen?」で、立体的でカラフルな絵と、話の展開がとても面白い絵本でした。魔女が登場する場面では、みんな思わず歓声をあげました。講師による母国の紹介のコーナーも興味深い話が多く、親子とも積極的に質問する姿が見られました。英語と異文化の経験ができた楽しい会でした。



英語による絵本の読み聞かせの様子



ベトナム伝統のお菓子「チェー」が完成

## 留学生と県民との交流会 Meet the World

12月20日(日)

講師：岡山大学留学生の皆さん

イギリス、インド、エジプト、ドイツ、パキスタン、パプアニューギニア、バングラデシュ、ベトナムの8か国出身の留学生と81名の参加者が集い、交流を深めました。

カルタ世界大会は、ドイツ出身パイザー・サミーラさん、アチャターマヤ・ヤンさんによるカルタの歴史の紹介から始まりました。大会トーナメントは白熱した戦いが続き、急ぎよ決勝戦は2回戦うことになり、応援にも熱が入りました。

歓談の後、いよいよ侍の登場です。300年前の甲ちゅうを身に着け、勇壮な侍たちの砲術の構え、刀での構えに会場は大いに湧きました。甲ちゅう着



付け体験では3名が甲ちゅうを身に着け、堂々たる構えを披露しました。初めて本物の甲ちゅうを見た人も多く、多くの質問が寄せられまし



真剣にカルタをねらう参加者と留学生

た。また、大振袖の着付け体験では、ベトナム出身グエン・ティ・ツイ・ハンさんが、華やかで美しい姿を見せてくれました。

留学生が自分の国を紹介したクイズでは、参加者と留学生と一緒に参加し、楽しく学ぶことができました。パプアニューギニア出身パリケン・ファビアン・ウィングさんは、近代国家の成立の歴史や珍しい食文化をクイズ形式で紹介し、自国の本当の文化や習慣を紹介したいと意気込み、楽しみながら話をしました。

日本の伝統的な文化を様々な国の参加者と一緒になって体験し、またお互いの国について紹介しあう貴重な機会となりました。



着物、浴衣、甲ちゅうを着た参加者と留学生



閉会のあいさつをする  
バングラデシュ出身  
エズハルル・レイスラムさん

# 世界の文化

## ～卒業式編～

多くの学生が巣立っていく春。世界の学生は、どんな卒業式を迎えているのでしょうか？

パキスタン・イスラム共和国



ラーマン・ユサフ・ルウさん  
(ペシャワール出身)  
高校生 / 在住歴3年

2014年12月にパキスタンの高校を卒業した弟の卒業式を紹介します。

特別な洋服を着た卒業生、おおよそ1,200人がグラウンドに集まりました。式が始まると校長が教育についての素晴らしい式辞を読み、卒業証書と賞を授与しました。夜は、卒業生が先生のために祝賀会を開催し、大いに盛り上がりました。弟は「卒業の日を思い出すと笑顔になる」と言います。

※パキスタンの教育制度は、5～9歳が小学校、10～12歳が中学校、13～14歳が高校となっています。パキスタンには義務教育制度はありません。



左がユサフさんの弟のカーシ・ユナスさん

インドネシア



ラフマツ・アジ・ハルヤントさん  
(中部ジャワ州 プルウォケルト出身)  
技能実習生 / 在住歴4ヶ月

インドネシアの卒業式は、大学によって時期も回数も違います。女子学生はケバヤという伝統衣装の上に、男子学生はスーツなどの上に「トガ」と呼ばれるガウンと帽子を着用します。通常は卒業証書の授与が終わると、卒業生が帽子の房を左から右に移動させ、卒業したことを意味するのですが、インドネシアには伝統があり、卒業証書が授与されると学長が帽子の房を左から右に移動させます。「卒業してからは右脳<sup>(※)</sup>を使うことを期待している」という意味があります。

※想像力、創造性、革新を司る



## Think Global, Act Local 県内国際団体のご紹介

### 公設国際貢献大学校

～やさしさを海の向こうへ～



#### 公設国際貢献大学校とは？

岡山県新見市(旧哲多町)が2001年に設置。産業界、教育機関及び地方公共団体が協調して、国際的な人道支援に関する試験研究並びに人材育成を行うことを目的とする公設・民営の研修施設です。

校長 明石 康  
所在地 〒718-0392  
岡山県新見市哲多町田淵70  
TEL 0867-96-2062(学務課)  
ホームページ <http://www.mii.ac.jp/>

#### ◇ももたろう国際救援事業

一定の研修(不定期)を修了したボランティアによる「ももたろう国際救援隊」を編成して、国内外の災害救援活動を行っています(隊員の派遣、物資の供与、救援金の贈与など)。

東日本大震災発災時から、継続して被災地支援に取り組んでいます。近年は、特に子どもたちへの支援として、「国際理解教室」を開催しています(国際機関や外交官との交流、他の被災地への応援、将来に向けたキャリア学習など)。

被災した子どもたちが、その経験をむしろ糧とし、将来国際社会で活躍するためのお手伝いになればと考え、取り組んでいます。



救援物資空輸の様子



救援物資積み込みの様子



国際理解教室

#### 事業紹介

##### ◇人材育成・研修事業

国際ボランティアの育成を目的として、国際協力分野の基礎知識や実際の現場で求められる技術の習得のため、様々なプログラムを実施しています。また、小・中・高校等へ講師を派遣する出張講演等も行っています。



高校生ボランティアユニット



ジュニアアンバサダープログラム

#### 参加の方法

- ◇研修・講師派遣の申込みを行う(学務課まで御相談ください)
- ◇災害救援活動を行う(一定の研修(不定期)終了後、ももたろう国際救援隊に登録する)
- ◇救援物資・救援金を提供する(現在は募集しておりません。募集する際はホームページ等で公開します。)

## 支援事業報告

平成27年度、当協会では次の団体へ助成金の交付を実施しました。

### 日本語教室開設・活動支援事業

団体名	事業名	事業内容
倉敷日本語教室	日本語の先生のためのスキルアップ講座	指導方法を講師から直接教わることで日本語指導力の向上を目指す研修会を行った。

### NGOの活性化支援事業

団体名	事業名	事業内容
おかやま女性国際交流会	30周年記念シンポジウム「異文化にふれて、学んで、つながって」	若い留学・現地体験者に自身の経験を語ってもらうシンポジウムを実施した。
岡山ユニセフ協会	ユニセフのつどい in 岡山 ～すべての子どもにやさしい世界を～	地球市民としてのつながりを感じるためのきっかけとして映画上映会、演奏会、交流会、バザーなどを実施した。
ダフェプロジェクト	外国人のための岡山生活情報ハンドブック(ネパール語版)作成に関する事業	「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」の簡易版をネパール語で作成した。
歯科ネットワーク岡山から世界へ	発展途上国または歯科治療不拡地域での歯科保険健康推進事業	ベトナムで歯科治療および予防歯科啓発活動を行った。
地球屋.com	国際交流料理教室	外国人に自国の料理を、日本人に和食を紹介してもらい、講習会を通して交流を図った。
こくさいこどもフォーラム岡山	ESD Café URA 2015	第1部 プレゼンテーション「わたしの(わたしたちの・我が校の)ESDについて」第2部 ワークショップ「岡山の国際化を促進するためには？」などをテーマにグループ討議と発表を行った。
Café Kenya/326	World Foods Festa #2 #3 in Café Kenya/326	いろいろな国の料理を食べながら岡山県民の国際理解・多文化共生への理解を深めた。
岡山国際交流クラブ	岡山国際交流クラブ活動事業	外国に興味のある日本人と岡山在住の外国人とのコミュニケーションの場を提供した。

## ボランティア募集

ボランティアの種類	内容	条件
情報相談コーナー	資料整理、コピー・ファックスサービス、掲示板の受付、イベント・講座の受付、情報提供など	業務時間内(月～土曜9時～17時)に1日3時間程度、月に2回程度以上、活動が可能の方。人と接することが好きな方歓迎!
図書資料室	新聞・雑誌の整理、書架整理、新聞の切り抜き、視聴覚資料の貸出・返却の受付、コピーサービスなど	業務時間内(月～土曜10時～19時)に1日3時間程度、または、10時～19時の終日(週1回)活動が可能の方。曜日・時間帯は要相談。
協会サポーター	イベント・講座での受付、会場準備、資料配布、後片付けなど	イベント・講座実施日に2～5時間程度。人と接することが好きな方! 国際交流に興味がある方!

■募集人数:各数名

■活動までの流れ:情報班に電話で連絡→岡山国際交流センターでボランティアについて説明を受ける→登録申請書の提出→活動開始

■問合せ:情報班まで

## 会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

### ☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業の参加費の割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 会員のみを対象としたイベントへの参加
- 入会時に記念品をプレゼント

### ☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円  
賛助会員：30,000円

### ☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)  
E-mail:kokusai@opief.or.jp



# 語学講座

この春から、  
新しい語学の勉強を  
始めてみませんか?

問合せ 情報班 TEL 086-256-2914

## インドネシア語講座

4月9日(土)からスタートします! 毎週土曜日、週1回、4月から翌年3月までの通年講座です。インドネシア出身の留学生が講師で、初級と中級の2クラスがあります。

- とき 初級・中級 土曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室等
- 講師 県内在住インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間、テキスト代別)
- 定員 初級、中級 各25名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 谷本氏まで(TEL:086-277-0329)

## 中国語講座

4月7日(木)よりスタートします! 中国出身の留学生が講師で、各クラス週1回、6か月の講座です。

- とき 入門 土曜日 17:40~19:10  
初級 土曜日 19:20~20:50  
会話班A 木曜日 19:00~20:30  
会話班B 土曜日 10:00~11:30 ※会話班A、B、Cの  
会話班C 日曜日 10:00~11:30 レベルは同じです。
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 講師 県内在住中国出身留学生
- 受講料 高校生以下 13,000円  
大学生・社会人 協会会員 15,000円、一般 18,000円  
(6か月間、テキスト代別)
- 定員 各16名
- 共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局まで(TEL:086-201-1076)

## 韓国語講座

韓国の生活・文化全般への理解を深める講座を開催します。韓国語に興味のある方のご参加をお待ちしています。

- とき 入門 5月21日~12月10日 毎週土曜日(全25回)  
初級 5月20日~12月9日 毎週金曜日(全25回)  
時間 19:20~20:30(日程は変更することがあります。)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 対象 入門 韓国語を初めて学習する方  
初級 韓国語の文字を覚えている方、入門段階を終えた方
- 受講料 協会会員 8,000円、一般 10,000円(全25回、テキスト代別)
- 定員 各25名

## 日本語講座

岡山国際交流センターでは、毎週火曜日から土曜日まで、日本語講座を実施しています。

- とき 火曜日 10:00~11:40/18:30~20:10  
水曜日 10:00~11:40/18:30~20:10  
木曜日 10:00~11:40  
金曜日 10:00~11:40  
土曜日 15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニースクラス会員2,000円に入会が必要です。)
- 定員 25名、入門~中級
- その他 1人2講座まで。無料見学もできます。

## EVENT CALENDAR

# イベントカレンダー

## 5月

### 21日(土) おかやまフェアトレードデー!

フェアトレードについて考えるセミナーや映画上映会、フェアトレード団体の資料や商品の展示等を行います。  
※詳細は4月中旬に発表予定です。

- とき 5月21日(土)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場ほか
- 参加費 無料 ●共催 JICA中国(申請予定)
- 問合せ 企画班まで(4月21日(木)受付開始)

## 6月

### 12日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会

県内の外国人による英語の絵本の読み聞かせ会に参加してみませんか?

講師の母国の話を聞くコーナーもあります。様々な国に触れ合いながら英語が楽しめる読み聞かせ会です。英語が好きな人・英語を楽しみたい人・絵本が好きな人!どなたでも自由に参加できます。

- とき 6月12日(日)11:00~11:30
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講師 岡山在住の留学生及び外国人
- 参加費 無料
- 対象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳~小学6年生)とその保護者等
- 定員 なし(申込み不要) ●問合せ 情報班まで

## 6月

### 下旬(予定) 留学生と県民との交流会

県内在住の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。

- とき 6月下旬(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール(予定)
- 参加費 協会会員:無料、一般:500円
- 定員 30名程度(要申込み)
- 申込み 情報班まで(5月中旬受付開始予定)

### 25日(土) 地域共生サポーター養成講座

岡山県から委託を受けて、在住外国人を支援する人材育成のための講座を開講します。サポーターとして活動するために必要な知識を身につけるための講座です。登録後はサポーター同士の情報交換や交流の機会もあります。

外国語ができなくてもOK!外国の方もOK!外国人住民を支援してみたい方、ボランティアや多文化共生に興味のある方など、たくさんの方の参加をお待ちしています。

- とき 6月25日(土)13:00~16:00(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 5階 会議室(1)
- 内容 講義、ワークショップ
- 登録 当講座を修了した方は、岡山県の「地域共生サポーター」に登録ができます。(希望者のみ)
- 参加費 無料
- 定員 30名(要申込み)
- 問合せ 情報班まで(5月下旬受付開始予定)

## 問合せ

### 一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 情報班・企画班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日]12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

### 編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

E-mail: kokusai@opief.or.jp